



## 会長の独り言



建築から遠ざかったけど

7期 三谷 創

いまの仕事はといわれると、建築よりもコンピュータやデザインの分野。

卒業したすぐの東京時代は構造設計ソフトの開発会社で、応力解析や振動解析のプログラムを開発していました。当時のパソコンは性能が低くていろいろ苦労しました。少ないメモリ(64KB)で連立一次方程式を効率よく解くために、線形代数、グラフ理論などの数学、有限要素法の書籍を読みまくっていたような。社会に出てからもしっかし勉強したと思っています。

学生時代(4年生から)は電算機室に入り浸っていて、卒業研究は中村研で、いまとなつては弾塑性解析の基本のようなシンプルなプログラムでしたが、800ステップほどのFortranプログラムを組んでました。

そんな私ですが、一応建築学科卒ということで町内ではまちづくり協議会の事務局(その実は雑用係だったりして)をしています。町内の防災避難マップの作成、獅子舞の保存・継承などソフト面の活動を行っています。

町内の旅行もまちづくりということで、去年は彦根・五箇荘方面、今年は輪島・門前へ視察旅行に行ってきました。去年は個人的に震災後の門前総持寺周辺に行っていたので、現在の震災からの復興が進んでいることを実感することができました。門前黒島地区の協議会の方には、黒島の歴史、角海家や北前船で栄えた歴史のある住宅などを見学・説明して頂きました。

いろいろな人にお世話になって、やっぱり「ヒューマンコミュニケーション」は大事にせなあかんなあと思う日々なのでした。

東京へ行くと美術展巡りをしたり、建物を撮ってみたり、建築の血はまだまだ流れているようです。



## ほおづえ会HPからのお知らせ



[<http://hoozue.org>]にて運営されているほおづえ会のホームページですが、現在は卒業生勤務先のリンク集を中心に少しずつ充実を図っている所です。案外と近くに、または思いがけない所に先輩や後輩が居ることの確認に使ってもらえるよう、少しでも多くの方々のご登録をお願いしたいと思います。

また相変わらず真っ白のトップページですが、そこを飾るに相応しい写真コンテストも企画しております。卒業生や在校生が「母校らしい風景」と共感できるような風景を独自のセンスで切り取ってご応募下さい。

詳しい内容はホームページでご確認下さい。HP管理人より告知とお願いでした。

以上よろしくお願いたします。

### ほおづえ会フォトコンテストのお知らせ

#### 【主 旨】

石川工業高等専門学校建築学科同窓会「ほおづえ会」のホームページを飾る画像を募集します。

卒業生や在校生が「母校らしい風景」と共感できるようなシーンを独自のセンスで見つけて下さい。

#### 【参加資格】

石川高専建築学科関係者はもちろん、ほおづえ会活動にご理解いただける方で写真画像を投稿できる方ならどなたでも結構です。

#### 【賞 品】

特選3000円

入選1500円×5点

(amazonギフト券を予定しております)

#### 【募集期間】

平成20年10月27日(月)～平成20年11月28日(金)

詳しくはほおづえ会ホームページまで

<http://hoozue.org>

石川工業高等専門学校 建築学科 同窓会会報

Vol.17

<http://hoozue.org>

ほ

お

づ

え

平成20年10月30日発行

■ 企画編集／ほおづえ会

■ 発 行／ほおづえ会事務局

ほおづえ会事務局

(石川工業高等専門学校建築学科同窓会)

〒920-0348

石川県金沢市松村1-131

スタジオ・エム(株)みずほ建築事務所内

TEL / 076-268-3974

FAX / 076-268-3975

E-mail / [office@hoozue.org](mailto:office@hoozue.org)

# 平成20年度 ほおづえ会 役員会報告

平成20年9月25日、今年度は総会の代わりに役員会が開催され、以下の議案について承認されました。

## ◎平成19年度 収支決算報告

(平成19年8月1日～平成20年7月31日)

### <収入の部>

・会費(正 3,000円× 89名)	267,000
・会費(準 1,000円×205名)	205,000
・会費(卒業生 3,000円×35名)	105,000
・総会会費	52,000
・雑収入(預金利息等)	1,128
・前年度繰越金	983,660

合 計 1,613,788

### <支出の部>

・総会費用	91,000
・事務費(ラベル,封筒)	7,560
・印刷費(会報,払込書印字)	67,357
・通信費(会報送料等)	129,800
・事業費(松任駅前フェスタ)	9,000
・事業費(学校への補助)	200,000
・事業費(HP維持費)	100,000
・予備費	1,009,071

合 計 1,613,788

## ◎平成19年度 事業報告

- ・松任駅前フェスタ 2007 参加 (平成19年10月)
- ・会報16号発行 (平成19年10月)
- ・浅野川園遊会ボランティア (平成20年4月)
- ・ホームページの更新、充実

## ◎平成20年度 収支予算

(平成20年8月1日～平成21年7月31日)

### <収入の部>

・会費(正 3,000円×100名)	300,000
・会費(準 1,000円×200名)	200,000
・前年度繰越金	1,009,071

合 計 1,509,071

### <支出の部>

・総会費用	100,000
・会議費	30,000
・事務費	50,000
・印刷費(会報,払込書印字)	50,000
・通信費(会報送料等)	150,000
・事業費(松任駅前フェスタ)	100,000
・事業費(学校補助)	200,000
・事業費(HP維持費)	100,000
・慶弔費	50,000
・雑費、予備費	679,071

合 計 1,509,071

## ◎平成20年度 事業計画

- ・松任駅前フェスタ 2008 参加 (平成20年10月)
- ・会報17号発行 (平成20年10月)
- ・ホームページの更新、充実

## ■住所変更の届出のお願い

現在ほおづえ会では名簿発行しておりません。会報などの連絡・郵送のために会員1名につき、住所1つのみを管理しております。住所変更の際には、お手数ですが下記の名簿担当幹事または事務局までご連絡下さい。

e-mail:office@hoozue.org

尚、ほおづえ会と石川高専の全体同窓会とは住所データの管理は別になっておりますので、お手数ですが住所・勤務先・電話番号などの変更や登録、発行名簿に関する問い合わせは全体同窓会の方へお願いいたします。

## ■会費納入のお願い

ほおづえ会は、会員の皆様の会費によって運営されています。平成20年度会費(3,000円)の振込用紙を同封させていただきますので、会費納入のご協力をお願いいたします。



## 会 員 近 況



大熊 克和(30期)

30期卒の大熊克和です。石川高専を卒業後は東京工業大学建築学科3年に編入し、その後、東工大大学院塚本研

究室に進学しました。2007年9月より1年間、東工大の交換留学プログラムにてドイツ、シュトゥットガルト大学に留学しました。現在は大学を一時休学し、ベルリンのKuehn&Malvezzi Architektenにてインターンとして働いています。

ドイツは環境問題に対して積極的で、建築分野にもエネルギー負荷についての規制が多くあります。シュトゥットガルト大学では構法、素材、エネルギー効率などを考慮し、総合的なサステナビリティを考える設計課題や講義を主に選択していました。

また、ドイツをはじめヨーロッパ諸国は市民の建築に対する関心も高く、建築が都市に与える力を皆よくわかっています。そのため、設計競技が数多く行われ、規模の小さな施設であっても多くの人達によってじっくりと決定されます。

地震がないことや、建設材料の違いで日本よりも建築の寿命が長いこともあります。やはり、自分たちのつくった建築がその都市をかたちづくり豊かにするという感覚が根底にはあるような気がします。ドイツの地で学ぶことはまだまだたくさんありそうです。

筆者ブログ <http://blog.livedoor.jp/kumkumac/>

吉野 達矢(18期)

ご無沙汰しております。高専を卒業してから早17年目となりました。卒業後は豊橋技術科学大学に7年間在籍し、現在、東京ドームの屋根などの設計・施工した会社にて勤務しています。その間に、結婚し、2人の子供を授かり、来年からはそれぞれ小学1年生と年少となります。

入社したころは、ワールドカップ用スタジアムの建設時期であったことから、私もスタジアムの構造設計の一部にかかわることができました。このときに、上司から「この物件は地図に残るぞ」と言われました。CMにも似たようなフレーズがありますが、非常に印象に残っています。

その後は研究所にて、飛行船の外皮材料の開発に携わり、その材料を使った飛行船が4000m上空を飛行しました。

5年前から熱・光・音と建築環境も業務範囲となり、現在では、業務の半分以上が熱環境に関連しています。

以上のように、建築構造だけでなく建築環境や材料開発などを行ってきました。今後はさらに仕事の幅を広げていきたいと思っております。



## がんばってるぞ同窓生



株式会社 日建設計

設計部門副代表兼設計室長

若林 亮(7期)

高専の入学試験の時、面接官であった故櫻井喜文先生に「君は絵が好きか？」と聞かれて「はい！」と一言答え、その瞬間に「合格！」と言われた時から、建築を学ぶこととなり、……高専卒業後は豊橋技術科学大を経て、設計事務所に勤めて既に23年。高専に入学した時から数えれば32年が経ちます。

建築雑誌でご存知の方もいらっしゃるかも知れませんが、その間、「掛川市庁舎」や愛知県瀬戸市の「品野台小学校」、名古屋の栄に建つ「L A C H I C」と言う商業施設まで、様々な分野の設計に携わせて頂き、今年4月には、私の設計室で担当した「モード学園スパイラルタワーズ」(右の写真)が、名古屋駅前に開校しました。

スパイラルタワーズは、ファッション、コンピューター、医療の3つの学校が入る校舎で、地上170m、36階建ての超高層ビルですが、駅前に建ち並ぶビルと異なるのは、その形がスパイラル状に捩れていることです。

クライアントであり、ファッションデザイナーでもある谷まさる学長が、経済性や機能性だけの四角い建物が並ぶ街並みの中では、若者の創造力は育たない。「感性」という価値観こそ大切だと、コンペで私達の案を選んで下さいました。ドレスのような柔らかなシルエットをつくるよう、階が1層上がるほどに平面が3度回転して、1%縮小する捩じれた建物は、鉄骨の柱が斜めに建ち、その柱と梁の仕口が全て異なる。また、サッシュやガラスも、同じ大きさ、同じ形が一つとしてない……。設計はもとより、施工者や、メーカーさん、現場や工場で汗を流して下さった職人さん達にとっても、極めて精度の高い丁寧な仕事が要求される建物でした。

近年開発され3次元での座標管理ができるArchi Cadという、言わば未来に向かうソフトと、過去から綿々と培われてきた職人さん達の技術が、上手く出会った時代に実現することができた建物かもしれません。

私は、このスパイラルタワーズに限らず、設計や現場での打ち合わせでは、いつも手描きのスケッチで、つくりたい形や空間のイメージを伝えるようにしています。

頭の中にあるイメージや想いを伝えるためには、CADの線ではなくて、太い鉛筆の線で……。平面や立面ではなく、できるだけ立体的に描くようにして。

スパイラルタワーズでの、アナログの鉛筆書きの太線が、Archi Cadの3次元のデジタル座標に置き換わり、そのデジタルの座標が、職人さん達の精緻な技術で、実物大の建物として姿を現していく過程は、コンピューターの技術の進歩と職人さん達の底力を思い知らされるような、今までにない経験でした。

いろんな建築を見て、それを頭の中の引き出しに入れるのはスケッチする「手」。そこからアイデアを引き出すのも「手」。スケール感を身につけるのも「手」なら、自分のアイデアが上手く行くかどうかを確かめるのも「手」。一つの建物に関わる多くの人にイメージを伝えるのも「手」だと思っています。

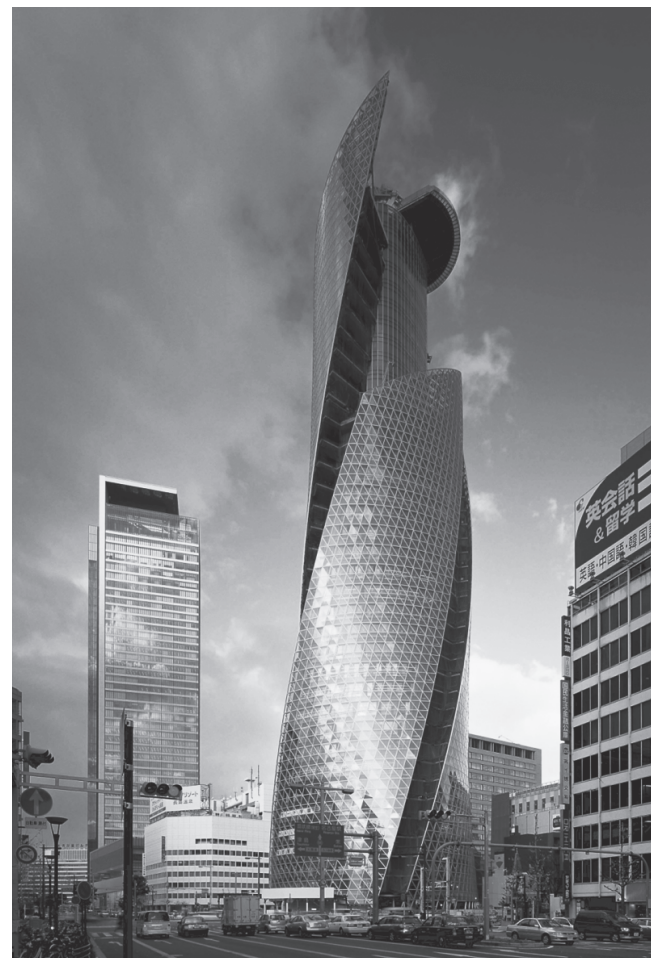
「君は絵が好きか？」

他界された桜井先生から頂いた言葉は、スケッチを描く手として、今の自分の大きな力になっています。

ほおづえ会の三谷会長から、原稿依頼を頂いて、改めて建築学科のホームページを覗いたところ、平行定規が乗った製図版に向かう学生さんの写真があって、とても嬉しく思いました。CADでの製図を覚えることも大切ですが、CADは建物の情報を伝える、ただの道具にしかなりません。道具を磨くことより、まずは「ものづくり」をする「手」を磨くことが大切だと思っています。

名古屋を中心に設計活動をしていますが、名古屋の街は、まとまりがあって、自分達が設計した建物を通じて、「街をつくっている」という感覚が持てるところが好きです。スパイラルタワーズの工期はわずか28ヶ月。見る見る間に捩じれながら建ち上っていく鉄骨が工事中から街行く人の話題になり、完成後も名古屋の街の新しいランドマークとして様々なメディアに取り上げられ、今も多くの方が見学にいらっしやして下さいます。

今までの苦労が報われたような思いがして、これからも気概を持って感性豊かな街並みをつくるために微力ながらもスケッチを続けていきたいと思っています。



## ●新任教員あいさつ

### 道地 慶子(どうちけいこ)

この10月1日、後期より石川高専のお仲間に入れていただくことになりました。専門は建築計画および都市デザインで、最近特に『景観形成によるまちづくり』に携わることが多くなってきています。今までいろいろな土地で暮らし、さまざまなことに関わってきました。金沢の町に来たのは今回がはじめてですが、なぜかこの町は私が暮らしていたイギリスや他のヨーロッパの町を思い起こさせるものがありとても不思議な感じがしています。たとえば、市内の起伏のある土地の形状を生かし町の中心部に配慮した空間構造を持っていること、時を重ねそれらが何層にもなって熟した景観を形成していることなどが挙げられると思います。それらからこの町やひとびとはとてもゆるやかにおだやかに時を過ごしているのだという印象を受けております。

私が石川高専の学生たちに対して一番に感じたことは、みなとても『素直』だということです。この『素直』であるということは、物事を吸収する力がとても強いということで、何かを成し遂げるための大切な要素です。その貴重な素質を失わずに成長してくれたらどんなに素敵だろうと、私も少しでもみなさんの手助けになれるよう務めていきたいと思っております。よろしくお願いたします。



## ●浅の川園遊会 一段落

昭和62年より開催されてきた浅の川園遊会ですが、ほおづえ会を通じて、会場の清掃ボランティアや設置ゴミ箱の作製など、ここ10年ほど継続して参加してきました。その浅の川園遊会実行委員会より届いた便りによると・・・「春の浅の川園遊会の目的は、東山地区に関して、ほぼ一段落したものと想定しつつ実行委員会で議論しました結果、春のお祭りは来年以降一部を除き演舞場が出来るまで見送り、休演する事と致しました。」とのこと。今年は水害もありましたので、暫く休憩になるのかもしれませんが。

## ●今年一年の主な活動

- 平成19年11月 「おかしなお菓子な家づくりコンテスト」開催
  - 平成19年11月 第4回全国高専デザコン参加(徳山高専)
  - 平成19年11月 「建築学科第10回ポウリング大会」開催
  - 平成19年12月 間伐材ベンチを能登空港に設置
  - 平成20年2月 中西悟堂研究会より感謝状
  - 平成20年3月 学生支援GP能登半島地震復興祈念フォーラム
  - 平成20年3月 河内先生退職(1987.4-2008.3)永籐先生長野高専へ
  - 平成20年4月 船戸先生長野高専より石川高専へ復帰
  - 平成20年4月 浅野川園遊会ボランティア参加
  - 平成20年4月 「建築学科第11回ポウリング大会」開催
  - 平成20年5月 ベンチの公開展示(県民みどりの祭典)
  - 平成20年7月 体験入学2日間実施(500人以上が参加)
  - 平成20年8月 照明づくりワークショップ(日本建築学会北陸支部)
  - 平成20年8月 学生支援GP 穴水まちづくりディスカッション
  - 平成20年8月 津幡町どまんなかフェスタで間伐材家具抽選会
  - 平成20年10月 道地先生着任
  - 平成20年10月 井上の荘住宅フェアに学生模型展示
  - 平成20年10月 「おかしなお菓子な家づくりコンテスト」開催
  - 平成20年10月 第43回紀友祭およびオープン・カレッジ
- \*11月21日(金)には第12回のポウリング大会を予定!

## ●最近の学校の様子(降雪対応：急勾配屋外階段の上屋)



\*降雪時は特に危険な急勾配階段に屋根が出来ました。

## ●2008年の建築学科スタッフ(2008/10月現在)

- 教授：江口 清(材料・在職3年目) 着任H18/11
- 教授：金木 健(計画・在職35年目) 着任S49/4
- 教授：石渡 博(環境・在職13年目) 着任H8/4
- 教授：北田幸彦(構造・在職31年目) 着任S53/4
- 准教授：道地慶子(計画・在職1年目) 着任H20/10
- 准教授：熊澤栄二(計画・在職11年目) 着任H10/12
- 准教授：船戸慶輔(構造・在職14年目) 着任H7/4
- 准教授：村田一也(計画・在職7年目) 着任H14/10
- 講師：内田 伸(計画・在職10年目) 着任H11/4
- 助教：森原 崇(環境・在職4年目) 着任H17/4

## ●近年の建築学科学生の主な進路

2005年3月(31期)	進学32%	就職68%
2006年3月(32期)	進学35%	就職65%
2007年3月(33期)	進学48%	就職52%
2008年3月(34期)	進学45%	就職55%
2009年3月(35期)	進学55%	就職45% 予定

## ■進学先(2005~2009)

新潟大学、前橋工科大学、武蔵工業大学、東京大学、東京理科大学、千葉大学、宇都宮大学、信州大学、北陸学院大学、石川高専専攻科、福井大学、滋賀県立大学、三重大学、京都造形芸術大学、京都大学、豊橋技術科学大学、熊本大学、琉球大学

## ■就職先(2005~2009)

前田建設、大林組、大成建設、戸田建設、清水建設、真柄建設、飛鳥建設、積和建設、NTTファシリティーズ、小松ウオール、JR西日本、大阪ガス、三谷産業、シンコール、サンウェーブ、日立ハウステック、国土開発、遠藤照明、ダイダン、日本美装、NTTシステム開発、YKKAP、京都市役所、中村住宅開発、オダケホーム、ニューハウス工業、エイキハウス、大和ハウス、石友ホーム、沢野建設工房、アーク建設、アーバンホーム、東建コーポレーション、サンケイコーポレーション、本田工務店、瀬戸設計、みずほ建築事務所、長村建築事務所、小西建築構造設計、鈴木管工業、総合園芸ほか(順不同)